

8月 運動場芝生維持管理だより

保健体育課
体力向上推進係

今月は、芝生の育成に大きく影響を及ぼす雑草について、お知らせしたいと思います。
内容については、「シビルまちづくりステーション」に協力をいただいています。



運動場の立地、土質、気象等の状況により、繁殖する雑草の種類も異なりますが、運動場芝生化を行った学校では、オヒシバ、メヒシバ、スズメノカタビラ、シロツメグサ、オオバコや湿地帯に繁殖するチドメグサなどの種類がよく見られます。育成、花の開花や種子を落とす時期もそれぞれ異なります。それぞれの雑草に応じた除草が大切になってきますが、主な雑草について、紹介します。他の雑草や芝生の育成、手入れ等については、ご不明な点は、担当係までご連絡ください。

スズメノカタビラ



イネ科の1年草の雑草です。多くは、秋に発生して冬を越しますが、春にも発生する場合があります。葉は細長く、緑色の花をつけます。踏圧にも強く、芽を出してから比較的早めに穂をつけるので繁殖力が強い雑草です。

芝生の刈り込み作業を行うことで対処はできますが、繁殖力が強く、発生する芽数が多くなりやすいので早めの処理を心がけます。小さいうちに芽を摘んでおけば簡単に抜けます。

オヒシバ

春から夏にかけて発生するイネ科の代表的な雑草の一つです。穂をつけて種を多くばらまきます。踏圧にも強く、よく生育し大きくなると簡単に抜けません。

基本的には、刈り取りではなく手作業で除草します。大きくなると手で抜くのも大変になるので、できるだけ早いうちに抜き取り作業を行います。まめに作業を行うと、芽が出て数も少なくなります。



シロツメグサ



マメ科の多年草で種子とランナーで増殖します。クローバーと呼ばれることもあります。

冬の間も生育し、4月～7月に白い小さな花を開花させます。運動場の外側で育成し、芝生部分に入り込み、増殖するケースが多く見られます。その前に、刈り取りや抜き取り作業を行い、除去します。

※ 基本的に雑草は、芝生が密集していないすき間に生えてきます。雑草が多い場所は、除草した後補植をします。上に伸びる雑草は、芝刈り機で刈り取ることができます。刈り取り作業をまめに行うことで、雑草の増殖を防ぐことができます。芝刈り機で刈り取れない雑草は、小さいうちに抜き取り作業を行います。

※ この時期、スプリンクラーヘッドを芝刈り機で、壊してしまうトラブルをよく聞きます。多くがスプリンクラーヘッドに土が入り込み、完全に下がり切らないことが原因です。刈り込み作業の前には、確認をお願いします。